

こどもが まんなか

いわてのWAっこ



いわて幼児教育センター通信
No.2 令和5年6月23日発行

発行・編集
岩手県教育委員会事務局学校教育室
(いわて幼児教育センター)
本通信は岩手県 HP からダウンロード
できます

<https://www.pref.iwate.jp/kyouikubunka/kyouiku/gakkou/1006358/1058868.html>

きらきら☆いわてっこ 散歩にはたくさんの学びがあります！

散歩は、子どもたちにとって大切な時間です。散歩のときには、となりに並んだ子と手を繋ぐことが多いと思います。友達と手を繋ぐことで、友達の存在に気付きます。また、友達の手から温かさや優しさを感じることも出来ます（友達の存在を知る）。友達と手を繋いで歩くことは案外難しいことです。それぞれ歩く速さ・歩く歩幅などが違いますので、お互いに相手のことを考えて一緒に前に進んでいきます（思いやり）。そして、散歩にはたくさんの発見があります。園外に出ることで開放的な気分になり自然物（木・花・虫）を見て触れ、季節の変化を知り、体いっぱいに感じます（自然に気付く）。さらに 道を歩くことで、安全な道の歩き方や、車がきた時に注意することなどを学んでいきます（安全を知る）。道路標識やマンホールの蓋の模様、店の看板、すれ違う散歩中の犬やにこにこと見守ってくれる町の人たち・・・（社会生活との関わり）。

色々な体験の中にたくさんの学びが詰まっている『散歩』です。

1歳児



近くの森までの散歩道

タンポポを発見した1歳児のAちゃんはにこにこしながら夢中でタンポポを摘んでいます。

Bちゃんは蟻の行列を発見して、長い時間じ〜っと見ていました。

心の中にたくさんの感性のタネをため込んでいる瞬間。



近くの原っぱまで散歩

見たことのない白い花を発見すると、すぐに保育者と友達に「見て見て！珍しい花見つけたよ」と教えてくれた5歳児のCちゃん。

「どれどれ」と周りに友達が集まってきました。「なんていう花だろうね」「図鑑で調べてみようよ」「そうだね」と会話がはずみます。



5歳児



原っぱで穴を発見した3人組

「何の穴だろう」「モグラじゃね」「何か出てきたらどうする」「棒見つけてこよう」棒を見つけてきて差し込んでみると「あ！水だ！濡れてる！」「あぁ～雪に穴掘って魚を取るやつみたいな」「それだ」「もっと長いの探そう」「うん！」「餌さえあればなあ」「くるかなあ」会話をしながらイメージがどんどん膨らんでいきます。



食事は健康な心と体を作る第一歩です！



幼児期の終わりまでに
育てほしい姿



たくさん食べて大きくな～れ



毎日、5歳児のお当番が
全園児分のお米を研ぎます

(1)健康な心と体
(2)自立心
(3)協同性
(4)道徳性・規範意識の芽生え
(5)社会生活との関わり
(6)思考力の芽生え
(7)自然との関わり・生命尊重
(8)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
(9)言葉による伝え合い
(10)豊かな感性と表現



楽しい雰囲気の中でみんなと一緒に食事をする、おいしさや食べる喜びを感じるようになります。また、周りの姿に刺激を受けながら苦手な食べ物にも挑戦する気持ちをもつことができます。色々な食材を食べると体が元気になり力が湧きます。走ったり、跳んだりするなど、自然に体を動かして遊ぶようになり、体も心も健康になります。

※ 食べる量やペースはそれぞれですね。その子の量やペースを大切にあげましょう。

今回のテーマは、主に(1)の育ちにつながっていきます。

「学びのらしんばん」をご活用ください

いわて幼児教育センターが窓口となり、岩手県内の幼児教育推進体制を構築し、就学前教育の質の向上にむけて取組を進めております。

体制構築については、「岩手県幼児教育推進連携会議」で検討を重ねてきました。この会議の中で、保育者のライフステージに応じた指標を作成しました。それが「岩手県保育者のための学びのらしんばん」です（リンク参照）。

<https://www.pref.iwate.jp/kyouikubunka/kyouiku/gakkou/1006358/1050398.html>

いわて幼児教育センターでは、この“らしんばん”に位置付けられているキャリア・ライフステージに応じた研修を進めています。5～6月には幼児教育中核保育者リーダー養成研修講座Ⅰ、幼稚園等初任者研修講座Ⅰ、幼児教育アドバイザー研修講座Ⅰ、園長等運営管理協議会、保育者レベルアップ研修講座ステップ1が行われました。

写真は、幼児教育アドバイザー研修講座Ⅰの様子です。各市町の「幼児教育アドバイザー」のみなさんが、支援事業において求められる役割についての講義を受けたり、他のアドバイザーのみなさんと情報交換を行ったりしました。

園長等運営管理協議会では147名が一堂に会し、武庫川女子大学の倉石哲也教授を講師にお迎えして、「子どもをひとりの人間として尊重する乳幼児期の教育・保育」と題してご講演をいただきました。

7月には「就学前教育管理職研修講座」「市町村幼児教育推進協議会」「幼保小の学びをつなぐ研修会」が予定されています。



県内各地の園の先生方、そしてその先にいる子どもたちのウェルビーイング(幸福)をめざしていきます。